

Kofax SignDoc



便利で信頼できる電子署名は、デジタル変換戦略に不可欠な基本要素です。

組織のパフォーマンスを向上するには、プロセスを効率化し、新規顧客と既存の顧客両方とやり取りする、新しい方法を見つける必要があります。契約書、承認、他のビジネスドキュメントにおける紙の使用を削減することで、コストを節約し、ポジティブなカスタマーエクスペリエンスを実現できます。本人の直筆署名プロセスから変換することは、デジタル変換 (DX) に不可欠な要素であり、企業がこれらの重要なパフォーマンス目標を達成する上で役立ちます。

- ◆ 運用コストの削減: 印刷、送信、スキャンプロセスにおける紙の使用を削減します。
- ◆ 締結までの時間の短縮: 契約や承認を完了するために必要な時間を、数日から数分へ短縮します。
- ◆ 顧客満足度の向上: どのデバイスでも、いつでもどこでも、好きな通信チャネルを使用して、カスタマーエクスペリエンスを転換します。
- ◆ コンプライアンスの維持: すべてのプロセスステップと取引の、追跡可能な、端末相互間の監査証跡を提供することで、コンプライアンスを向上します。
- ◆ 安全な運用: 社内外の詐欺のリスクを緩和し、訴訟の回避を支援します。

Kofax SignDoc®電子署名製品群の紹介

銀行、保険、小売り、他の多くの業界における世界中の主要な組織は今、Kofax SignDoc電子署名製品群を推進することにより、パフォーマンス目標を達成しています。SignDocにより、顧客、従業員、ビジネスパートナーはすべて、毎日、信頼できる、安全で便利なペーパーレスの署名からメリットを得ています。

SignDocは幅広いビジネスのメリットを実現

SignDocは調達プロセス、顧客アカウント管理、サービス文書、および給与計算と財務プロセスにおいて、多くの業界の顧客と従業員のやり取りで、幅広いメリットをもたらします。

SignDocは幅広い署名の目的とシナリオに最適

SignDocを使用して、以下を実現できます。

- ◆ ドキュメントの内容と、それは拘束力があり、決定的で否認できないことを承認し、採用する際の実質的な証拠を提供します。
- ◆ 署名者の本人性を確認し、さらに署名の後、ドキュメントが変更されていないことを検証する方法を提供し、署名されたドキュメントが本物であること、および完全性を確認できます。

SignDocは以下の電子署名シナリオに対応します。

- ◆ 物理的に接続: オフィス、店舗、支店、現場で直接、対面
- ◆ 仮想で接続: ビデオ会議や音声で (例: コールセンター)
- ◆ リモートセルフサービス: 移動中、スマートフォンやタブレットで、またはオフィスや自宅のデスクトップで

様々な署名方法と展開オプションから選択

SignDocは様々な電子署名方法を提供します。

- ◆ ブラウザでクリックするだけで、署名します。
- ◆ 署名者の識別のため、デジタル証明書と連携します。
- ◆ タブレットの画面と署名パッドで、生体認証用の手書きの署名を取り込みます。これは、自動署名検証および (または) 法医学専門家による分析に最適です。

SignDocは、オンプレミス (組織のファイアウォールの後部)、プライベートおよびパブリッククラウド、およびハイブリッドモードで展開できます。

SignDocの実用的な用途

銀行	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 口座開設を許可する ◆ 消費者ローンまたは住宅ローンを開始する ◆ 財産や資産を管理する
保険	<ul style="list-style-type: none"> ◆ A生命保険、および医療、事故、その他の保険形式に申請する
通信	<ul style="list-style-type: none"> ◆ モバイル、ケーブル、ブロードバンドサービスの契約に署名する ◆ 電話番号を移転する
小売り	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 支払いを承認する ◆ 返品する
ヘルスケア	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 患者の治療への同意を文書化する ◆ 医師の資格を認定する ◆ 医療供給者契約に署名する
電力、石油およびガス	<ul style="list-style-type: none"> ◆ エネルギー供給者と契約する
製造	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 船荷証券または廃棄物処理

統合と柔軟なライセンスング

SignDocは組織全体で、様々なビジネスプロセスと環境に統合できます。

- ◆ **電子署名ワークフロー:** プロセスを通じたドキュメントの状況の追跡を含め、SignDocにより、同席での署名オーケストレーションを素早く実装開始します。
- ◆ **ウェブベースのミドルウェア:** 対応するブラウザのプラグイン、モバイルアプリ、デバイスコネクタを使用して、SignDocをビジネスアプリケーションに簡単に統合します。
- ◆ **デスクトップクライアント:** デスクトップ環境で、単独で機能する、リッチクライアントのSignDocを使用します。
- ◆ **Adobe Reader向けプラグイン:** SignDocはAdobe LiveCycle環境での統合のために特別に設計されています。
- ◆ **ソフトウェア開発キット (SDK):** SignDoc SDKを使用すると、電子署名および署名検証機能を、アプリケーションやプロセスに密接に統合できます。これには、上記の他のすべての製品で共有される、基本および中心的なコンポーネントが含まれます。

SignDocライセンスング機能により、統合オプション間で柔軟に変更できます。ライセンスングはユーザーまたは使用量に基づいています。

SignDocはデジタル変換に不可欠な要素

電子署名は、紙書類をベースとした最終ステップを排除するため、完全な端末相互間のデジタルプロセスとデジタル変換を実現するために不可欠です。顧客はいつでもどこでも、署名するオプションに満足し、組織とのやり取りが大幅に改善すると考えています。組織は端末相互間のデジタルビジネスプロセスの使用からメリットが得られ、これによって時間とコストを節約し、プロセスの安全性を高め、時間を要する、紙ベースのプロセスを実行することから従業員を解放し、より多くの時間を顧客サービスに費やすことができます。

SignDocとTotalAgility

単独で機能するソリューションとしてSignDocを推進するほかに、より広いKofax TotalAgility®プラットフォームの一部として展開することもできます。このユニークなプラットフォームを使用して、幅広い業界と使用事例で、顧客と端末相互間のデジタルなやり取りができます。従来の、孤立したソリューションはシナジー効果を促進しません。SignDocはモバイルIDキャプチャ、およびロボットプロセス自動化により、ドキュメント構成、キャプチャおよび保存、ワークフロー処理と管理およびデータとシームレスに統合されます。

SignDocは他のKofaxソリューションとうまく連携

- ◆ 細かい設定は不要で、簡単にSignDocを幅広いKofax TotalAgilityプラットフォームに統合します。
- ◆ Kofax Onboarding Agility™などのプラットフォームに構築された、ソリューションの枠組みにSignDocをまとめられます。
- ◆ Kofax Customer Communications Manager™ドキュメント構成ソリューションなど、個々のプラットフォームコンポーネントとSignDocを組み合わせます。

SignDocはコンプライアンス要件を実現

SignDocは、2000年の米国の電子署名法やEUの eIDAS規則No. 910/2014など、世界中の電子署名の使用を管理する、法規制や技術ガイドラインに準拠した電子署名をサポートします。世界中の電子署名に関する法的要件の詳細は、電子書籍「Globally Legal: Best Practices for E-Signature Deployment」を参照してください。SignDocは電子署名されたドキュメントに、高レベルの証拠能力を提供し、世界中の法人顧客に活用されています。

SignDocは特定の使用事例と対応するドキュメントに基づき、コンプライアンス要件も実現します。これらの要件は米国食品医薬品局 (FDA) 連邦規則21条第11章、米国ドッド=フランク法 (DFA) - 第14章-住宅金融改革及び反略奪的貸付法及び米国の貸付真実法 (TILA) - 不動産決済手続法 (RESPA) 開示ルールなど、プライバシー、データセキュリティおよび消費者保護に関する多国間の規制、国内法、規則、技術ガイドラインに定義されています。同様の規制がヨーロッパ、アジア、アフリカ、オーストラリアにも存在します。

サードパーティの提供企業による追加デジタル証明書は、ほとんどの国の大部分のSignDoc使用事例で必要ありません。しかし、信頼性を高めるために追加することも可能です。

- ◆ **直接、対面の署名:** 生体認証のキャプチャによって、電子署名されたドキュメントの証拠能力が強化されるため、Kofaxは、手書きの署名を置き換えるのではなく、デジタルプロセスに統合することを推奨します。
- ◆ **リモートおよびセルフサービスの署名:** デジタル証明書はクリックして署名などの署名方法が好まれることが多く、署名者は対面で証明されない場合に、より強力な役割を果たします。また、SignDocは、SMSを介して、ポータルへのアクセスリンクや、ワンタイムパスワード (OTP) のテキストメッセージを提供するといった、認証方法をサポートします。

多国間の法律や国内法に定められる場合、SignDocは以下に配置されたデジタル証明書をサポートします。

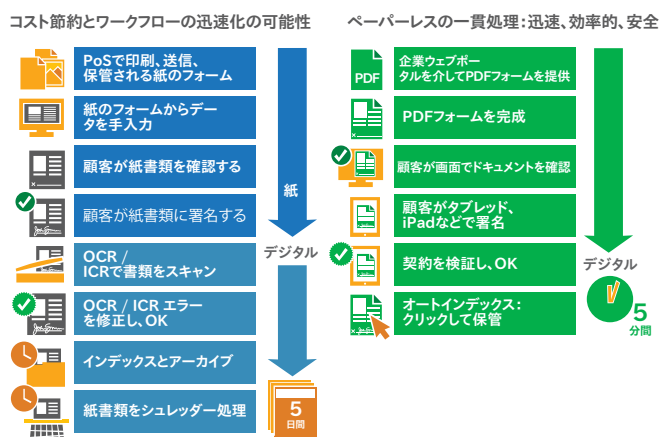
- ◆ **リモート/サーバ側**:例えば、Hardware Security Module (HSM) またはクラウドベースのサービス。
- ◆ **ローカル/クライアント側**:例えば、ハードウェアトークン (スマートカードやUSBフラッシュドライブなど) または、ソフトウェア証明書としてユーザーのPCや組織のシステムに保管。

EUのeIDAS規則など、様々な法律では、電子署名を作成する場合、以下のデジタル証明書を使用することが求められています。

- ◆ **高度電子署名 (AES)**: デジタル証明書が必要
- ◆ **適格電子署名 (QES)**: 適格信頼サービスプロバイダー (QTSP) から適格な証明書が必要

SignDocはビジネスにどのようなメリットをもたらすか

- ◆ **包括的な署名オプションの提供**: SignDocはクリックして署名機能により、電子署名プロセスを起動し、手書きの署名を使用します (対面の署名で好まれる場合が多い)。
- ◆ **コンプライアンス問題のリスクを低減**: SignDocは、誰が署名したか (署名者)、何を署名したか (署名時の書類内容の状況)、いつ署名したか (日時) について、明確な証拠を提供します。
- ◆ **強力な証拠能力を実現**: 手書きの署名により起動されたデジタル署名は、ISO/IEC 19794-7規格に従い、筆記プロセスの生体認証信号のキャプチャを含むことができます。そして、取り込まれた署名者の写真および (または) 署名者のIDを、ISO/IEC 32000 PDF規格に準拠したデジタル署名としてドキュメントに追加できます。
- ◆ **独立した、署名されたドキュメントの一部として、監査証拠を提供**: ドキュメントの確認は外部サービスへの接続から独立しているため、特定のベンダーに依存するベンダーロックインはありません。



- ◆ **標準ワークフローの強化**: ドキュメントやフォームをデジタルで作成、送信、追跡、署名し、迅速に展開するか、または署名されたドキュメントやフォームをウェブベースのミドルウェアまたは SDKを介して、独自のアプリケーションとワークフローに深く組み込み、より顧客に適した体験を生み出します。
- ◆ **フルブランディング**: SignDocでは、電子署名ソリューションを相手先ブランドで提供するホワイトラベリングを備えています。
- ◆ **簡単な統合**: SignDocは既存の様々なシステムに統合され、対応するワークフロー、および取引の詳細なレポートや監視と連携します。
- ◆ **複数のオペレーティングシステムプラットフォームをサポート**: デスクトップとモバイルOSに対応します - Windows, iOS, AndroidおよびLinux。
- ◆ **複数の展開オプションを提供**: オンプレミス (ファイアウォールの後部)、クラウドおよびハイブリッドモードが含まれます。

Kofax SignDoc詳しくは、kofax.jpをご覧ください。